

前十勝は強風・寒かった〜!

3月9日は、クラブとしては初めての前十勝でした。前日に毎年お世話になっている宿で、参加者の皆さんとチョットお酒も入り、和気あいあいの時間を過ごし、明日の山に備えました。

当日は「曇り風強し」の予報で、多少の不安を抱えながら白銀荘登山口を8時30分に出発。登り始めは今にも雪が降りそうな低い雲ながら、それ程風も強くなく、何とかこのままもって欲しいと思いつつながら歩を進める。

以前から前十勝に登っているY氏によれば、「雪が多い時からすると半分もない。」とのこと、登っているとあちこちに岩が顔を出している。

標高を上げるにつれて風も強まり、「何処まで登ろうか?」「沢に入れば風も弱まるかも?」と相談しながら、急斜面を登り尾根に出た辺りでいよいよ風も強まり、標高1,467m地点で、「ここを山頂にしよう。」、時間は11時でした。強風に叩かれながら、急いでシールを外し下山へ。



これからの予定

3月30日(日) ニセコワイズ

石塚氏まで

4月13日 日高沙流岳

塩野谷氏まで

4月20日の週の天気の良い日

暑寒別岳 上口氏まで



滑り始めは、短い距離ながらパウダーを楽しみ、風の弱い場所で休憩し、あとは緩斜面を岩に気を付けながら滑り降り、12時過ぎに無事白銀荘登山口へ下山。

白銀荘の休憩室を借りて昼食休憩のあと、解散となりました。

参加者8名、皆さん、お疲れ様でした。

登りよよい、下りは悪雪に回苦へ苦!

3月23日は稲穂嶺。曇りながら風も弱くまあまあの登山日和。予定通り8時30分に登山開始。結構硬い雪もこの時期は仕方ない。

一部急斜面があるものの、比較的楽な斜面を登ること2時間30分、11時に山頂に到着。尾根沿いに銀山、留辺蘂山、遠くには薄つすらとニセコの山々も見える。ここでゆっくりと昼食休憩のあと、下山開始。頂上付近は硬いながら滑りやすい雪だったが



標高が下がるに従って、気温も上がターも中々面倒な雪に四苦八苦ターンが難しいので、「立木に打つから無いように」気を付けながら1時頃無事下山でした。

参加者は12名、皆さんお疲れ様でした。

